

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2022年 2月 5日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」白山松任校

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---------|---|--------------------------------------------------------------------------------|----|-----|---------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | ○ | | 個室での支援やフロアにて体を動かすなど支援によって臨機応変に対応している。 | |
| | ② | 職員の配置数は適切である | | ○ | 関係法令に則った職員配置である。 | 利用者様が多く負担もあるが、児発管も協力していただき、支援が円滑になるよう工夫している。 |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている | ○ | | 屋内は段差のないように工夫している。 | 1階2階の校舎のため、外階段での行き来となっている。雨の日は滑りやすいため、指導員が付き添いながら昇降している。1階2階のやりとりはインターホン（会話は出来ない）で行っている。 |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている | ○ | | 毎朝清掃と消毒・換気を行っている。支援の合間には換気を行い、感染症予防を徹底している。 | トイレの手洗いが難しいお子様には、踏み台を用意するなど工夫をしている。 |
| 業務改善 | ⑤ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | ○ | | 行事・イベントがある度、振り返りを行い改善を図っている。 | 毎月目標を立て、目標に向かいながら改善すべきことは改善を図っている。児童の支援にも工夫が必要な際には、話し合いを行う。 |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | 毎回の支援後に保護者様と話し合い、意見や児童の最近の様子を聞き取る時間を設けている。 | |

| | | | | | | |
|----------|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|--|---------------------------------------------------------------|-------------------|
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | | |
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | ○ | | | 現在、第三者評価は行われていない。 |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | 連携機関である発達支援研究所の定例研修や事例検討会に参加し研鑽している。 | |
| 適切な支援の提供 | ⑩ | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している | ○ | | 定期的モニタリングを行い、お子様の情報を共有して、お子様に合った支援計画を作成している。 | |
| | ⑪ | 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | 法人内で標準化されたツールを、随時更新している。 | |
| | ⑫ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている | ○ | | | |
| | ⑬ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われている | ○ | | | |
| | ⑭ | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | 児発管がアセスメントした基本情報シートや相談員からいただいたプランなどを参考に話し合っ てプログラムを作成している。 | |
| | ⑮ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | お子様の様子や成長・発達に合わせて活動を行っている。 | |
| | ⑯ | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している | ○ | | 保護者様から頂いた情報なども参考にしながら | |

| | | | | | |
|--------------|---|---------------------------------------------------------------------------------|---|-----------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | | ら、お子様に合ったプログラムを実施している。 | |
| | ⑰ | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | 支援前には情報共有を図っており、前日の様子などを把握した上で支援を行っている。 | |
| | ⑱ | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | 全体共有事項を報告し、情報共有を行っている。 | |
| | ⑲ | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | 毎回の支援についての記録を残し、支援の様子を把握できるようにしている。 | |
| | ⑳ | 定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している | ○ | 最低6ヶ月に一度、定期モニタリングを行い、情報共有・支援の見直しを行っている。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | ㉑ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | ○ | 主には児童発達支援管理責任者が参画している。 | |
| | ㉒ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている | ○ | | |
| | ㉓ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている | | ○ | 医療的ケアが必要な児童の利用はない。受け入れとなった際は、しっかりと連携を図っていく。 |
| | ㉔ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている | | ○ | 医療的ケアが必要な児童の利用はない。受け入れとなった際は、しっかりと連携を図っている。 |
| | ㉕ | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | | ○ | 情報共有を増やしていきたい。保護者を通して共有することがある。 コロナウイルスの影響もあり、連携をとる体制が難しかったが、機会があれば積極的に行っていきたい。 |

| | | | | | | |
|------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|-------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| | ②⑥ | 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている | ○ | | お子様の状態・状況に応じて学校連携を密にとっている。 | コロナウイルスの影響もあり、連携をとる体制が難しかったが、機会があれば積極的に行っていきたい。 |
| | ②⑦ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | 児発管が定期的に情報共有をし、連携を図っている。 | |
| | ②⑧ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある | | ○ | きらりひろばのチラシ配布に力を入れている。 | 実際、園や障害のないお子様との交流の機会は殆どないが、きらりひろばや広報活動を通して「きらり」のことを知っていただく機会を設けている。 |
| | ②⑨ | （自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している | | ○ | 参加できていないが、これから積極的に参加していきたい。 | 職員の参加はないが、児発管は定期的にこども部会に参加し、情報交換を行っている。 |
| | ③⑩ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | 支援後毎回、支援の様子を伝えている。 | |
| | ③⑪ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている | ○ | | 事業所内においてペアレント・トレーニングは行っていないが、必要に応じて関係機関の紹介・社会資源の情報提供を行っている。 | |
| 保護者への説明責任等 | ③⑫ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | 把握できていない部分があるため、理解し説明できるように努める。 | 契約時に保護者様には児発管が伝えている。 |
| | ③⑬ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている | ○ | | | |
| | ③⑭ | 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | 定期的に保護者面談を行い、保護者様の相談や支援の方針、 | |

| | | | | | |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------|---|--|------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| | | | | ニーズをお聞きし、支援に活かしている。 | |
| ③⑤ | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | ○ | | コロナウイルス拡大防止の観点から開催が見送られてきたが、感染防止対策を徹底した上でママカフェを開催することが出来た。 | ママカフェを今後も企画し、保護者様同士の連携をとれる機会を増やしていきたい。 |
| ③⑥ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | 指導員も保護者様からの相談を受ける機会があり、校舎内で情報共有を行い、話し合った内容をお伝えしている。 | |
| ③⑦ | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | ○ | | きらりひろばのチラシやホームページへのブログの投稿を行っている。 | 今後も周知していき、きらりの支援についてやイベント内容について、理解を増やしていく。 |
| ③⑧ | 個人情報の取扱いに十分注意している | ○ | | 個人情報の漏洩にならないよう、記録や個人ファイル、お子様の名前が入ってる書類等は鍵付き書庫に入れている。 | |
| ③⑨ | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | 大切な話を伝える場合には、個人情報に配慮しながら別室で話をしたり、面談を行っている。 | |
| ④⑩ | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | ○ | | パンフレットやチラシなどを地域の店舗に置いていただいている。 | |
| 非常時 ④⑪ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している | ○ | | | |

| | | | | | | |
|------------------|----|----------------------------------------------------------------------------|---|--|-----------------------------------------|----------------------------|
| 等 の 対 応 | ④② | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | 毎月防災訓練を実施している。お子様や保護者様参加型の防災訓練も実施している。 | |
| | ④③ | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している | ○ | | 児発管がアセスメントの際に、必ずお聞きするようにしている。 | |
| | ④④ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | | 食事をとることはないが、アレルギーの確認はしている。 |
| | ④⑤ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | 小さいことも共有し、事故に繋がらないように注意している。 | |
| | ④⑥ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | ○ | | 毎年1回研修の機会を設けて参加している。 | |
| | ④⑦ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している | ○ | | やむを得ない場合の対応はマニュアルに明記されているが、身体拘束は行っていない。 | |

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2022年 2月 5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」 白山松任校

保護者等数（児童数）：5 回収数：3 割合：60%

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|----------|---|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----------|-----|-------|--------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 環境・体制整備 | ① | 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか | 3 | | | | | |
| | ② | 職員の配置数や専門性は適切であるか | 3 | | | | | |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 1 | | | 2 | 雨の際の階段が滑りそう。 | 基本的には児童発達支援のお子様は1階での支援をお願いしております。万が一階段を使用する場合は、指導員と手を繋いだり、手すりを持って昇降しております。 |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 3 | | | | | |
| 適切な支援の提供 | ⑤ | 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか | 3 | | | | | |
| | ⑥ | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか | 3 | | | | | |
| | ⑦ | 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか | 3 | | | | | |
| | ⑧ | 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか | 2 | | | 1 | | |
| | ⑨ | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 2 | | 1 | | | |
| 保護 | ⑩ | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか | 3 | | | | | |

| | | | | | | | |
|---------|---|------------------------------------------------------------------------------------|---|---|--|---|--|
| 者への説明等 | ⑪ | 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか | 3 | | | | |
| | ⑫ | 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか | 1 | 1 | | 1 | |
| | ⑬ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか | 3 | | | | |
| | ⑭ | 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか | 3 | | | | |
| | ⑮ | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか | 2 | 1 | | | |
| | ⑯ | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか | 3 | | | | |
| | ⑰ | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか | 2 | 1 | | | |
| | ⑱ | 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか | 2 | | | 1 | |
| | ⑲ | 個人情報の取扱いに十分注意されているか | 3 | | | | |
| 非常時等の対応 | ⑳ | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか | 2 | 1 | | | |
| | ㉑ | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか | 2 | | | 1 | |
| 満足度 | ㉒ | 子どもは通所を楽しみにしているか | 3 | | | | |
| | ㉓ | 事業所の支援に満足しているか | 3 | | | | |

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。